

令和5年度 徳島県公共事業評価委員会資料

10. 地すべり防止事業 三好市（山城町）下名影地区



事業概要 (実施箇所位置)



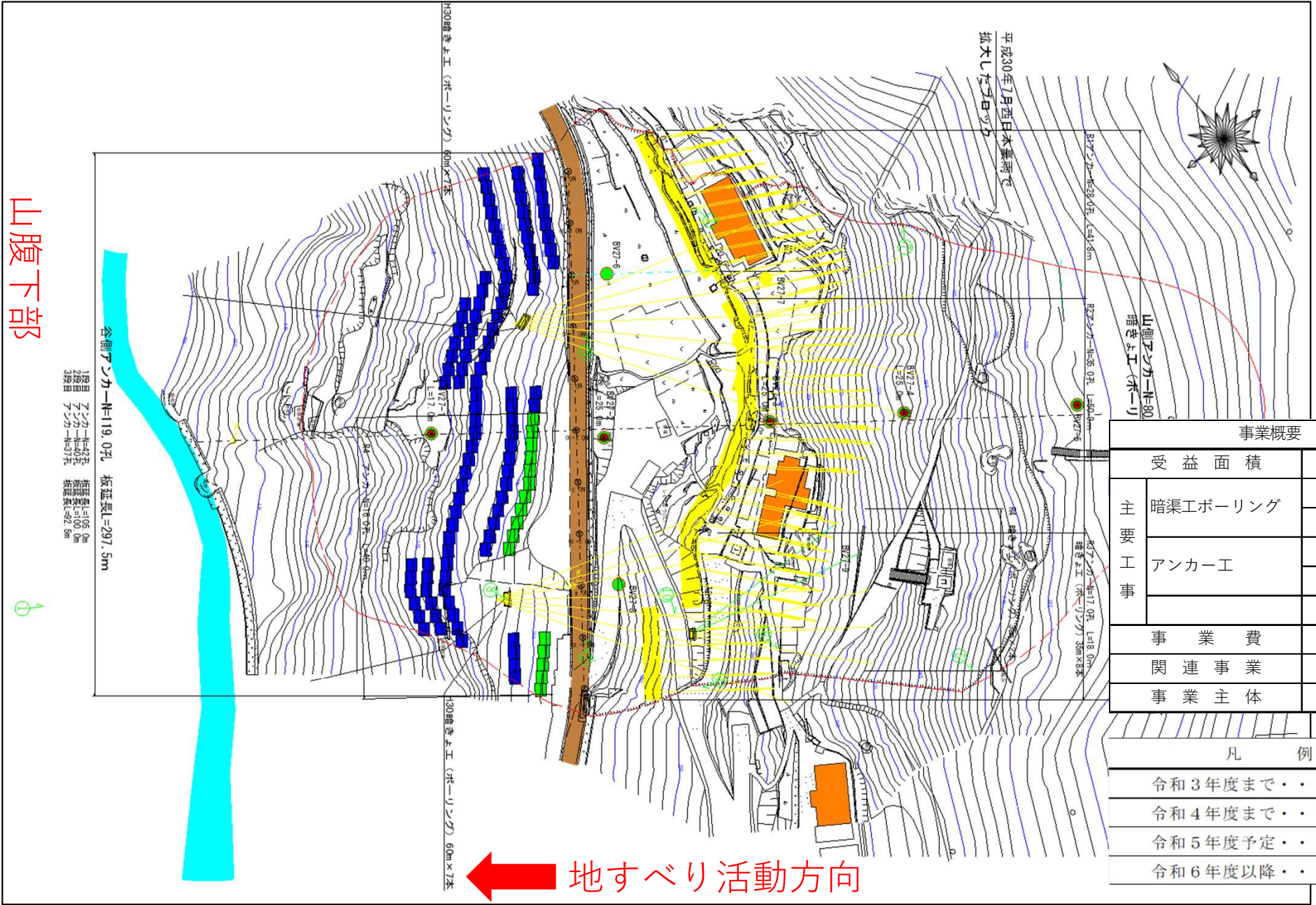
事業概要（周辺施設との位置関係）



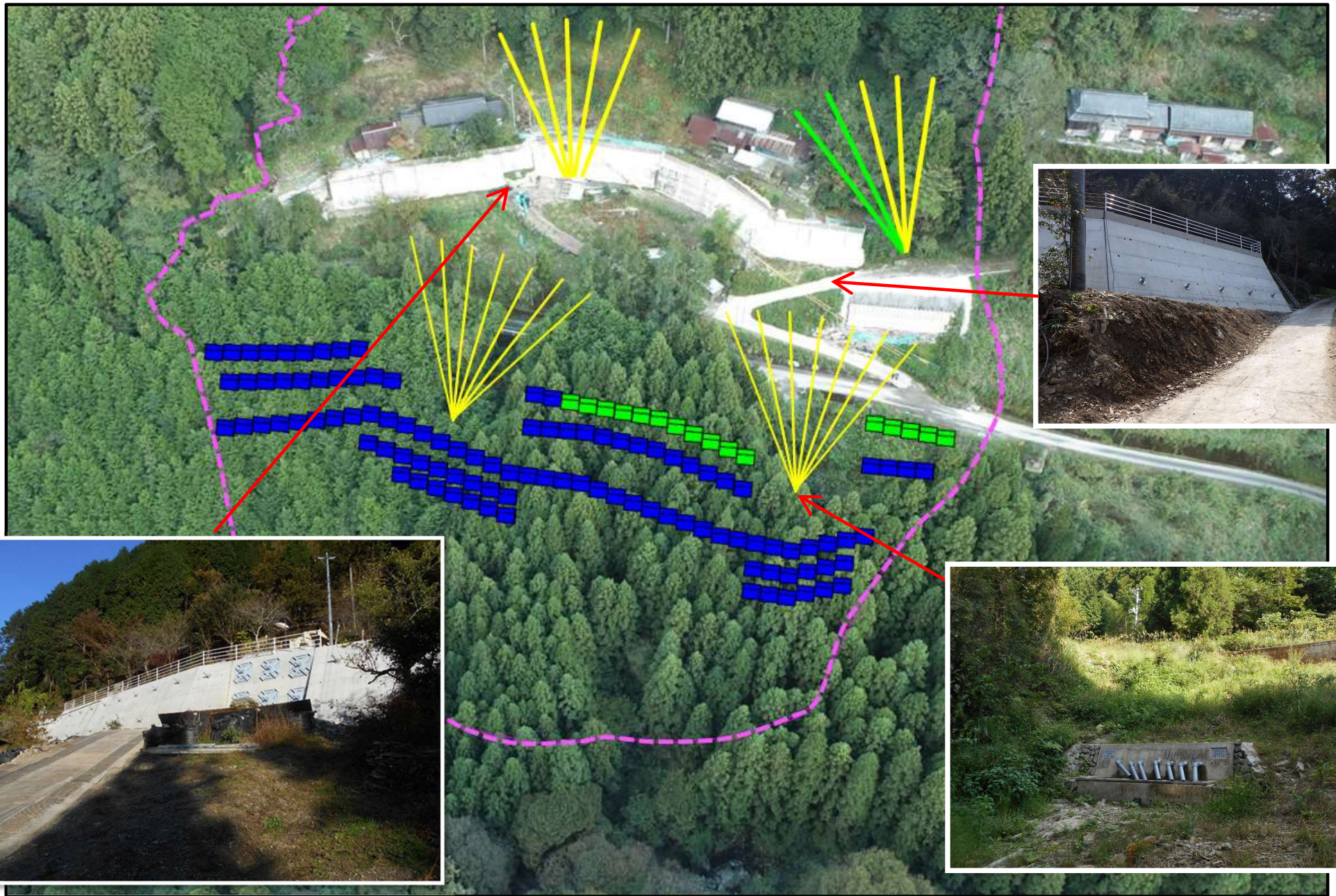
事業概要 (被災状況)



事業概要 (全体計画)



事業概要（工事進捗状況）



評価項目

① 進捗状況

61%

② 社会経済情勢の変化

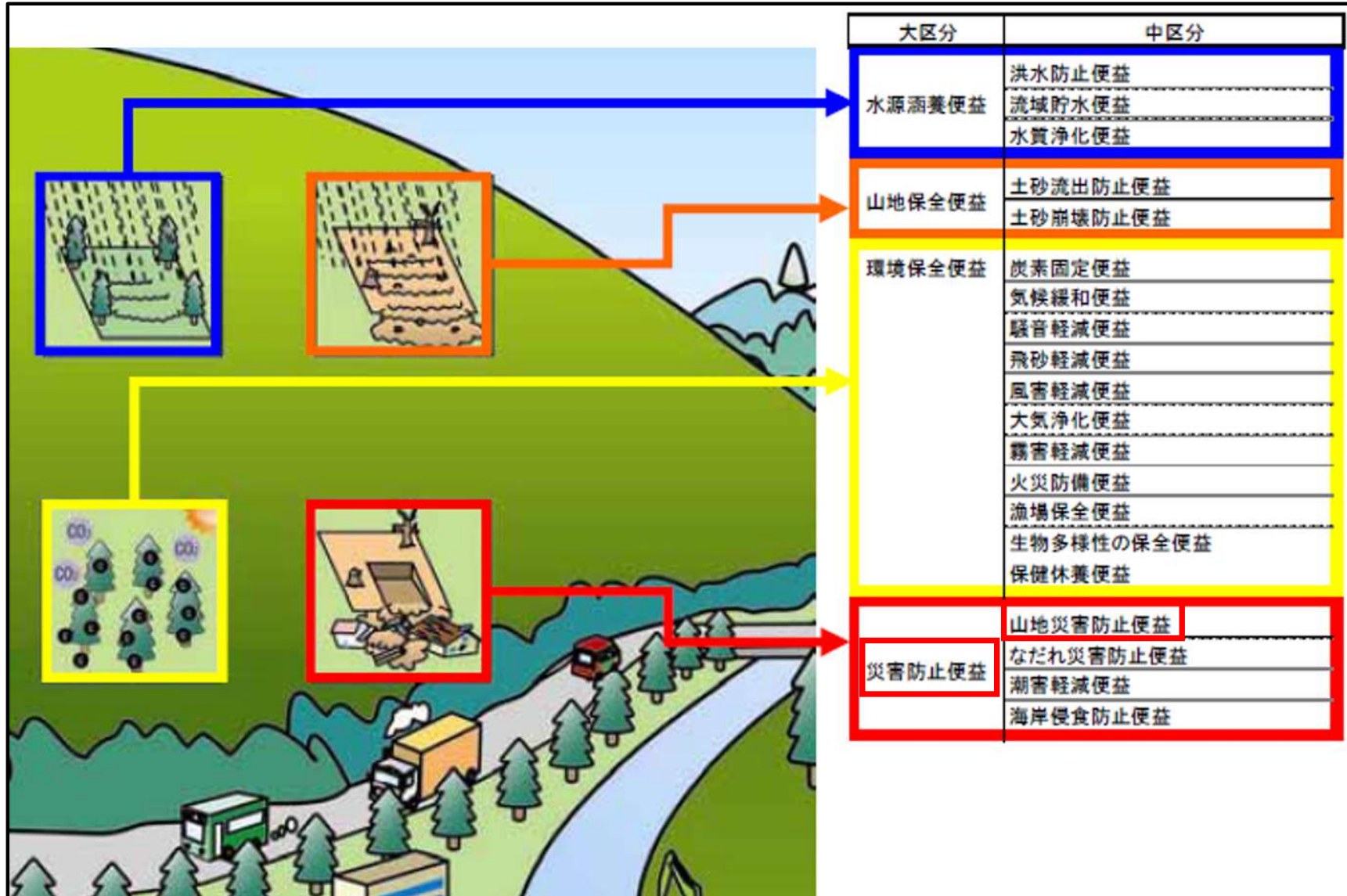
計画時点と比較し、保全対象等の変化は無く、引き続き本事業による地すべり対策が必要である。

③ 費用対効果の分析

地すべり対策を実施することにより、周辺及び下流域の住民の生活環境の安定を図ることができる。

投資効率 = 総事業効果額 / 総事業費 → 1.46

治山事業による便益算定手法



※地すべり防止事業の場合は、「山地保全便益」か「災害防止便益」のいずれか高い方の便益を適用する。

費用対効果

総便益

災害防止便益（山地災害防止便益）

- 1 家屋・家庭用品に及ぼす
想定被害額
 - 2 公共土木施設等へ及ぼす
想定被害額
- 等

6億2,119万1千円

総費用

事業効果発現に必要な費用

4億2,582万9千円

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 1.46$$

■今後の対応方針（案）

事業継続